

令和5年度 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)報告

日 程 令和5年8月6日(日)～9日(水) 4日間

会 場 〈ロード・レース〉 北海道 函館市 道南四季の杜公園 発着の特設コース
〈トラック・レース〉 北海道 函館競輪場 周長 400m

今年のインターハイは新型コロナウイルス感染症拡大前の様子に戻り、保護者やOBの応援を受けながらの全国大会となりました。

なお、アスリートの肖像権を守ること、スポンサーおよび報道の権利を守る目的で、競技中のバンク内からの写真撮影が制限されています。レースの様子はすべてインハイTVを通してYouTubeに上げられていますので、興味のある方は検索してご覧いただければ幸いです。

また、最終結果(リザルド)は全国高体連自転車競技専門部ホームページをご覧ください。 <http://hs-cycling.com/>

本校からは、塚本 橋本 渡辺 の3年生3名が参加しました。



大会初日 ロードレース 塚本 橋本 渡辺

本校は、1校最大3名の出場枠を満たす3名の出場。朝から北海道には似つかわしくない暑さの中、10時過ぎに距離を81km(8.1km×10周回)に短縮してスタート

3人共に無事に先頭集団に位置して1周回終了。1周回ごとに先頭集団から脱落する選手が多い中、2周回も無事に3名とも先頭集団でチーム補給所前を通過。

3周回目に塚本の自転車に異変、大きな段差を乗り越えたところで、変速ができなくなるというマシントラブル。すぐにレースサポートのマビックに代車を用意してもらうが、集団には戻れず残念ながら途中リタイア(関門アウト)となった。4周回目に集団からの逃げが発生し、集団のスピードが上がったところで、今度は橋本の姿が先頭集団に見当たらない。今大会前から調子が上がってこない橋本であったが、レース中盤で先頭から遅れて途中リタイアとなってしまった。

レースは中盤に集団から7名の逃げが発生し、5周回目には7名の逃げ集団と第2集団に完全に

分かれてしまう。渡辺は第2集団で先頭を追う展開となったが、残り4周回には先頭集団6名、先頭を追う第2集団が4名出て、渡辺は第3集団におかれ入賞は難しくなったと思われたが、残り2周回に入り、第3集団が第2集団を吸収し渡辺にも再び入賞のチャンスが出てきた。

しかし、最周回には、先頭集団6名をバラバラと追う選手が現れ、第2集団から飛び出していく選手に渡辺は合わせることができず、集団は15位前後のあらかいとなる。最後の補給でOS1を受け取った渡辺も入賞に向けて先頭集団の6名を追わなければならないが、渡辺の所属する集団のスピードは上がらず、最終ゴールスプリント。先頭集団のフィニッシュから遅れること4分、第3集団の先頭で渡辺はフィニッシュ。14位となり、学校対抗12位の成績を残した。

142名出走で完走者は34名と厳しいレースの中、大健闘の完走でした。 ↓力走する渡辺



4km速度競走 予選 塚本（3年生）

予選2組目 1番キャップでスタート。スタートで飛び出す選手がおらず、あまりペースが上がらないまま塚本は6周目にホームとバックの先頭責任を取って先頭責任を完了して一旦集団の後方に下がる。ここで、一気に一人で逃げる選手が現れるも集団は追わず、先頭責任完了者6名中4名が準決勝に進める展開となる。塚本は集団内で良い位置取りをキープしながら最終周回へ予選通過の4位以内を目指してゴールスプリント。予選3位で難なく準決勝進出！

4km速度競走 準決勝

準決勝1組目 6番キャップでスタート。準決勝は10名で走り決勝には5名が上がるスタイル。

今回は大外からのスタートとなりスタート直後に5番手につけるも、4番手の選手が先頭の3名を追わずに先頭交代、3名を追いきれないと判断した塚本も先頭交代して3名の逃げを集団は容認してしまう。残った7名でのゴールス



プリントで2位までに入れば決勝進出となるので、集団は牽制しながら最終周回へ 塚本はバック側で先行した選手を抜き4位でゴールに向かうがホーム直線で後ろについていた2名の選手に抜かれ6位フィニッシュ。残念ながら準決勝敗退となった。

ポイントレース予選（16km）

橋本（3年生）

予選2組目 1番キャップでスタート。

調子が上がらない橋本は序盤は集団の様子を見て走行。

中盤に少し集団のスピードが緩んだところで得意の逃げに出て、橋本を含む3名の選手で逃げが決まったかに見えたが、4回目のポイント直前に集団に追いつかれ1点を獲得して集団に戻る。

以降、集団は逃げを許さず橋本はゴール得点(倍点)を取りに行く作戦に切り替えたが、橋本本来の走りができず、予選13位で敗退が決まる。



スクラッチ予選 渡辺（3年生）



予選2組目 9番キャップでスタート
スクラッチレース予選は6kmで行われ
400mバンク15周回での着順位であ
らそわれる。

全国大会となると逃げに出る選手が少
なくレースは集団のまま終盤を迎える。

ここで、渡辺が積極的に前に出て逃げ
を試みるが、集団に吸収される。

残り2周回800mで一か八かでラスト
スパートをかける選手が現れ一気に集
団はスピードアップ。渡辺もあわせて踏
み込むが、前方に踏み遅れた選手がいて上手く前に出られない。ラスト1周で何とか前を交わして9番手で残り1周をもがくも予選8位となり、予選上位7名に惜しくも届かず予選敗退。

今大会は、ロードも含めて全国入賞を目指してきたが、選抜大会のように行かず、全国の壁に押し戻されてしまいました。新チームで今年度の全国選抜大会、来年度のインターハイ入賞を目指して頑張ります。

また、8月16日から「ツール・ド・九州」に3年生3名に岩本(2年生)を含めた4名で大阪代表チームとして走りますので、引き続き応援よろしく願いいたします。

インターハイでは、ご声援ありがとうございました。